

第 5 章 環境影響要因の抽出及び環境影響評価項目の選定

第5章 環境影響要因の抽出及び環境影響評価項目の選定

5.1 環境影響要因の抽出

本博覧会の事業計画を基に、環境に影響を及ぼすおそれのある要因（以下、「環境影響要因」とします。）を工事中・開催中・撤去中の各段階で、表 5.1-1 に示すとおり抽出しました。

表 5.1-1 環境影響要因の抽出

区分	環境影響要因	要因の概要
工事中	建設機械の稼働	建物の建築や施設の整備等の工事のために、建設機械が対象事業実施区域内で稼働します。
	工事用車両の走行	資機材の運搬、廃棄物等の搬出及び施設の管理等を行う車両が走行します。
	建設行為等の実施	建物の建築や施設の整備等の工事を実施します。庭園等の整備に伴い、外来植物を含む植物の搬入・植栽・管理を実施します。
開催中	会場施設等の存在	展示・サービス施設、花壇、庭園、駐車場及びバスターミナル等の施設が存在します。土地区画整理事業において保全対象種の生息環境として創出された水辺空間等が存在します。
	施設の供用	来場者及び施設管理関係者等が施設を利用します。会場内で様々な行催事等を行います。施設の管理・運営作業等を行います。
	関係車両の走行	来場者の自家用車、シャトルバス及び団体バス等の車両が走行します。資機材の運搬、廃棄物等の搬出及び施設の管理等を行う車両が走行します。
	外来植物を含む植栽等の管理	外来植物を含む植物の搬入・植栽・管理を行います。
撤去中	建設機械の稼働	仮設施設等の解体工事のために建設機械が稼働します。
	工事用車両の走行	撤去物や廃棄物の搬出のため車両が走行します。
	仮設施設等の撤去	仮設施設等の解体・撤去を行います。

5.2 環境影響評価項目の選定

抽出した環境影響要因を踏まえ事業特性と地域特性を勘案し、環境影響評価を行う項目（以下、「環境影響評価項目」とします。）を表 5.2-1 に示すとおり、温室効果ガス、生物多様性（動物、植物、生態系）、水循環（湧水の流量、河川の流量）、廃棄物・建設発生土（一般廃棄物、産業廃棄物）、大気質、騒音、振動、地域社会（交通混雑、歩行者の安全）、景観、触れ合い活動の場の計 10 項目を選定しました。

なお、環境影響評価項目として選定した理由及び選定しない理由は、表 5.2-2～表 5.2-4 に示すとおりです。

表 5.2-1 環境影響要因と環境影響評価項目の関連表

環境影響要因			区分			開催中			撤去中		
			建設機械の稼働	工事中 工用車両の走行	建設行為等の実施	会場施設等の存在	施設の供用	関係車両の走行	植栽等の管理 外来植物を含む	建設機械の稼働	工事中 工用車両の走行
環境の保全及び創出に向けた基本的な考え方	環境影響評価項目	細目									
			地球環境への負荷の低減	温室効果ガス	温室効果ガス	●	●	●		●	●
身近な自然環境の保全・再生・創造	生物多様性	動物			●	●	●		●		●
		植物			●	●	●		●		●
		生態系			●	●	●		●		●
	水循環	地下水水位及び湧水の流量			●	●					
河川の形態、流量					●			●			
海域の流況											
安心して快適に生活できる生活環境の保全	廃棄物・建設発生土	一般廃棄物			●		●		●		●
		産業廃棄物			●		●		●		●
		建設発生土									
	大気質	大気汚染	●	●				●		●	●
	水質・底質	公共用水域の水質									
		公共用水域の底質									
		地下水の水質									
	土壌	土壌汚染									
	騒音	騒音	●	●			●	●		●	●
	振動	振動	●	●				●		●	●
	地盤	地盤沈下									
	悪臭	悪臭									
	低周波音	低周波音									
	電波障害	テレビジョン電波障害									
	日影	日照阻害									
		シャドーフリッカー									
	風害	局地的な風向・風速									
安全	土地の安定性										
	浸水										
	火災・爆発										
	有害物漏洩										
快適な地域環境の確保	地域社会	地域分断									
		交通混雑		●				●		●	
		歩行者の安全		●				●		●	
	景観	景観				●					
	触れ合い活動の場	触れ合い活動の場		●			●	●		●	
文化財等	文化財等										

注1：●は選定した項目を示します。

注2：下線部：「方法書」からの変更点を示します。

表 5.2-2(1) 環境影響評価項目を選定した理由・選定しない理由（工事中）

環境影響評価項目		選定	選定した理由・選定しない理由
評価項目	細目		
温室効果ガス	温室効果ガス	○	本博覧会において建設機械の稼働、工事用車両の走行及び建設行為等（植物の搬入・植栽・管理）の実施に伴い温室効果ガスの発生が見込まれることから、環境影響評価項目として選定します。
生物多様性	動物	○	対象事業実施区域は土地区画整理事業により改変され、公園整備事業により整備される予定の土地であり、本博覧会の工事中において、現存する動物、植物、生態系に対する直接的影響はありません。しかし、建設行為等の実施（施設の整備等の工事、庭園等の整備に伴う外来植物の搬入・植栽・管理等）により、隣接する瀬谷市民の森や土地区画整理事業によって創出される水辺空間等を生息・生育環境とする動物、植物、生態系に対して間接的影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
	植物		
	生態系		
水循環	地下水位及び湧水の流量	○	本博覧会において大規模な土地の造成は行わないものの、対象事業区域周辺には湧水が存在し、建設行為等の実施により湧水の分布及び流量が変化する可能性があるため、環境影響評価項目として選定します。 なお、本博覧会の工事では地下水位の著しい低下を招くような掘削等を行わないため、地下水位の細目については環境影響評価項目として選定しません。
	河川の形態、流量	×	本博覧会において河川の改修は行わず、河川の形態、流量への影響を及ぼす要因は想定されないことから、環境影響評価項目として選定しません。 なお、大門川、相沢川の改修は、土地区画整理事業において実施される計画です。
	海域の流況	×	本博覧会は、内陸部においてのみ実施されるものであり、海域への影響が想定されないため、環境影響評価項目として選定しません。
廃棄物・建設発生土	一般廃棄物	○	建設行為等に伴い一般廃棄物が発生することから、環境影響評価項目として選定します。
	産業廃棄物	○	建設行為等に伴い産業廃棄物が発生することから、環境影響評価項目として選定します。
	建設発生土	×	工事に伴い場内の一部で土砂の移動を行います。場外への運搬は想定されないため、環境影響評価項目として選定しません。
大気質	大気汚染	○	建設機械の稼働、工事用車両の走行に伴い発生する二酸化窒素及び浮遊粒子状物質が、住居等が存在する周辺地域の環境に影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
水質・底質	公共用水域の水質	×	工事に伴い発生する排水は、公共下水道に排水する計画であり、排水を河川に直接排水しないため、公共水域の水質に影響を及ぼす要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	公共用水域の底質	×	工事に伴い発生する排水は、公共下水道に排水する計画であり、排水を河川に直接排水しないため、公共水域の底質に影響を及ぼす要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。

表 5.2-2(2) 環境影響評価項目を選定した理由・選定しない理由（工事中）

環境影響評価項目		選定	選定した理由・選定しない理由
評価項目	細目		
水質・底質	地下水の水質	×	旧上瀬谷通信施設の国有地において令和元年度及び令和3～4年度に行われた防衛省による土壌汚染調査では、本博覧会の対象事業実施区域内の一部区画においても土壌汚染が確認されていますが、本博覧会の実施にあたっては、土地区画整理事業において適切な土壌汚染処理が行われた後、本博覧会の工事を実施します。本博覧会の工事において、地下水及び湧水の水質に影響を及ぼす要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
土壌	土壌汚染	×	対象事業実施区域内には、「土壌汚染対策法」に基づく要措置区域及び形質変更時要届出区域の指定はありません。旧上瀬谷通信施設の国有地において令和元年度及び令和3～4年度に行われた防衛省による土壌汚染調査では、本博覧会の対象事業実施区域内の一部区画で土壌汚染が確認されていますが、本博覧会の実施にあたっては、土地区画整理事業において適切な土壌汚染処理が行われた後、本博覧会の工事を実施します。本博覧会の工事において、土壌汚染物質の使用や排出は行わないことから、環境影響評価項目として選定しません。
騒音	騒音	○	建設機械の稼働、工事用車両の走行に伴い発生する騒音が、住居等が存在する周辺地域の環境に影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
振動	振動	○	建設機械の稼働、工事用車両の走行に伴い発生する振動が、住居等が存在する周辺地域の環境に影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
地盤	地盤沈下	×	工事において地盤沈下を招くような地下水の揚水、排水、遮断は行わないため、環境影響評価項目として選定しません。
悪臭	悪臭	×	工事において著しい悪臭を生じさせる要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
低周波音	低周波音	×	工事において使用する建設機械は、市街地の建設工事で一般的に使用される建設機械であり、日常生活に支障となるような低周波音の発生は想定されないことから、環境影響評価項目として選定しません。
電波障害	テレビジョン電波障害	×	工事において、電波障害を生じさせる施設は設置しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
日影	日照阻害	×	工事において、日照阻害の要因となる高層建築物等は設置しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	シャドーフリッカー	×	工事において、シャドーフリッカーを生じさせる構造物等を設置しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
風害	局地的な風向・風速	×	工事において、風害を生じさせる高層建築物等は設置しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
安全	土地の安定性	×	対象事業実施区域の近傍には「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき指定された「土砂災害警戒区域」が存在しません。区域内は平坦地であり、工事の実施等により斜面地の崩壊や地盤の変形を生じさせないことから、環境影響評価項目として選定しません。

注1：下線部：「方法書」からの変更点を示します。

表 5.2-2(3) 環境影響評価項目を選定した理由・選定しない理由（工事中）

環境影響評価項目		選定	選定した理由・選定しない理由
評価項目	細目		
安全	浸水	×	工事中において、周辺地域に浸水を生じさせる影響要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	火災・爆発	×	工事中において、火薬等の使用・蓄積はなく、工事の安全管理を徹底することから、環境影響評価項目として選定しません。
	有害物漏洩	×	工事中において、有害物の使用・蓄積はなく、工事の安全管理を徹底することから、環境影響評価項目として選定しません。
地域社会	地域分断	×	工事中において、地域の分断を起こすような交通経路の遮断は行わず、工事施工ヤードも限られた範囲になることから、環境影響評価項目として選定しません。
	交通混雑	○	工事用車両の走行に伴い、交通混雑に対し影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
	歩行者の安全	○	工事用車両の走行に伴い、歩行者等の交通安全に影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
景観	景観	×	工事中の景観変化は過渡的なものであることから、環境影響評価項目として選定しません。
触れ合い活動の場	触れ合い活動の場	○	対象事業実施区域及びその周辺には、触れ合い活動の場が存在しており、工事用車両の走行に伴いアクセスへの影響を及ぼすおそれがあるため、環境影響評価項目として選定します。
文化財等	文化財等	×	対象事業実施区域内には、周知の埋蔵文化財包蔵地が存在するものの、土地区画整理事業において、「文化財保護法」に基づき必要な措置を講じた後、本博覧会の工事を実施することから、環境影響評価項目として選定しません。なお、工事中に新たな埋蔵文化財包蔵地等を発見した場合には、「文化財保護法」に基づき直ちに届出を行い、関係機関と協議の上、必要な措置を講じます。

表 5.2-3(1) 環境影響評価項目を選定した理由・選定しない理由（開催中）

環境影響評価項目		選定	選定した理由・選定しない理由
評価項目	細目		
温室効果ガス	温室効果ガス	○	関係車両の走行及び植栽等の管理やその他施設運営におけるエネルギー使用に伴い温室効果ガスの発生が見込まれることから、環境影響評価項目として選定します。
生物多様性	動物	○	対象事業実施区域は土地区画整理事業により改変され、公園整備事業により整備される予定の土地であり、本博覧会の開催中において、現存する動物、植物、生態系に対する直接的影響はありません。しかし、会場施設等の存在や施設の供用、外来植物を含む植栽等の管理に伴い、隣接する瀬谷市民の森や土地区画整理事業によって創出される水辺空間等を生息・生育環境とする動物、植物、生態系に間接的影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
	植物		
	生態系		
水循環	湧水水量及び地下水位	○	対象事業実施区域周辺には湧水が存在し、会場施設の存在によって集水域の土地利用の変化が想定されるため、環境影響評価項目として選定します。 なお、開催中に、掘削や地下埋設施設の設置、地下水の揚水を行わず、地下水位への影響が想定されないため、地下水位の細目については環境影響評価項目として選定しません。
	河川の形態、流量	○	本博覧会において河川の改修は行いませんが、 <u>一部河川の上流部の集水域において駐車場等の設置に伴う土地利用の変化が想定されること、植栽等の管理において灌水の水源の一部として河川水を利用する可能性があることから、河川の流量を環境影響評価項目として選定します。</u> ただし、 <u>河川の形態への影響が想定されないため、河川の形態の細目については環境影響評価項目として選定しません。</u> なお、施設の運営によって発生する事業排水は、公共下水道に排水する計画であり、排水を河川に直接放流することはありません。
	海域の流況	×	本博覧会は、内陸部においてのみ実施されるものであり、海域への影響が想定されないため、環境影響評価項目として選定しません。
廃棄物・建設発生土	一般廃棄物	○	開催中における施設や植栽等の管理・運営に伴い、一般廃棄物の発生が予想されるため、環境影響評価項目として選定します。
	産業廃棄物	○	開催中における施設や植栽等の管理・運営に伴い、産業廃棄物が発生することから、環境影響評価項目として選定します。
	建設発生土	×	開催中における土砂の発生は想定されないため、環境影響評価項目として選定しません。
大気質	大気汚染	○	関係車両の走行に伴い発生する二酸化窒素及び浮遊粒子状物質が、住居等が存在する周辺地域の環境に影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
水質・底質	公共用水域の水質	×	施設運営によって発生する排水は、公共下水道に排水する計画であり、排水を河川に直接排水しないため、公共水域の水質に影響を及ぼす要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。

注1：下線部：「方法書」からの変更点を示します。

表 5.2-3(2) 環境影響評価項目を選定した理由・選定しない理由（開催中）

環境影響評価項目		選定	選定した理由・選定しない理由
評価項目	細目		
水質・底質	公共用水域の底質	×	施設運営によって発生する排水は、公共下水道に排水する計画であり、排水を河川に直接排水しないため、公共水域の底質に影響を及ぼす要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	地下水の水質	×	開催中において、地下水及び湧水の水質に影響を及ぼす要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
土壌	土壌汚染	×	開催中において、土壌汚染を生じさせる要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
騒音	騒音	○	関係車両の走行に伴う騒音、施設供用時の行催事における音響施設の使用に伴う騒音が、住居等が存在する周辺地域の環境に影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
振動	振動	○	関係車両の走行に伴い発生する振動が、住居等が存在する周辺地域の環境に影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
地盤	地盤沈下	×	開催中において地盤沈下を招くような地下水の揚水、排水、遮断は行わないため、環境影響評価項目として選定しません。
悪臭	悪臭	×	開催中において著しい悪臭を生じさせる要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
低周波音	低周波音	×	開催中において、著しい低周波音を発生させる設備は導入しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
電波障害	テレビジョン電波障害	×	開催中において、電波障害を生じさせる施設は設置しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
日影	日照障害	×	開催中において、日照障害の要因となる高層建築物等は設置しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	シャドーフリッカー	×	開催中において、シャドーフリッカーを生じさせる構造物等を設置しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
風害	局地的な風向・風速	×	開催中において、風害を生じさせる高層建築物等は設置しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
安全	土地の安定性	×	対象事業実施区域の近傍には「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき指定された「土砂災害警戒区域」が存在しません。区域内は平坦地であり、事業の実施等により斜面地の崩壊や地盤の変形を生じさせないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	浸水	×	開催中において、周辺地域に浸水を生じさせる影響要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	火災・爆発	×	開催中において、可燃物を大量に蓄積することなく、花火等を使用する際には適正な管理を行うことから、環境影響評価項目として選定しません。
	有害物漏洩	×	開催中において、有害物の使用・蓄積はなく、使用する農薬等の安全管理を徹底することから、環境影響評価項目として選定しません。
地域社会	地域分断	×	本博覧会により地域の共同体の一体性及び地域住民の日常的な交通経路を変化させないことから、環境影響評価項目として選定しません。

表 5.2-3(3) 環境影響評価項目を選定した理由・選定しない理由（開催中）

環境影響評価項目		選定	選定した理由・選定しない理由
評価項目	細目		
地域社会	交通混雑	○	関係車両等の走行及び駐車場への出入りに伴い交通混雑に対し影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
	歩行者の安全	○	関係車両等の走行に伴い歩行者の交通安全への影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
景観	景観	○	開催中において会場施設の建築物等の存在により、対象事業実施区域及びその周辺からの景観が変化する可能性があることから、環境影響評価項目として選定します。
触れ合い活動の場	触れ合い活動の場	○	対象事業実施区域及びその周辺には、触れ合い活動の場が存在しており、開催中において関係車両の走行に伴うアクセスへの影響、施設供用時の行催事における音響施設の使用に伴う騒音や夜間照明により活動の場の機能への影響を及ぼすおそれがあるため、環境影響評価項目として選定します。
文化財等	文化財等	×	対象事業実施区域内には、周知の埋蔵文化財包蔵地が存在しますが、開催中において文化財等に影響を及ぼす要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。

注1：下線部：「方法書」からの変更点を示します。

表 5.2-4(1) 環境影響評価項目を選定した理由・選定しない理由（撤去中）

環境影響評価項目		選定	選定した理由・選定しない理由
評価項目	細目		
温室効果ガス	温室効果ガス	○	仮施設等 ^{注1} の撤去工事に伴う建設機械の稼働や工事用車両の走行により温室効果ガスが発生するため、環境影響評価項目として選定します。
生物多様性	動物	○	仮施設等 ^{注1} や駐車場等の撤去工事に伴い、隣接する瀬谷市民の森や土地区画整理事業によって創出される水辺空間等を生息・生育環境とする動物、植物、生態系に間接的影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
	植物		
	生態系		
水循環	湧水水量及び地下水位	×	仮施設等 ^{注1} の撤去工事に伴う湧水水量及び地下水位への影響要因が想定されないため、環境影響評価項目として選定しません。
	河川の形態、流量	×	撤去中において河川の改修は行わず、河川の形態、流量への影響を及ぼす要因は想定されないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	海域の流況	×	本博覧会は、内陸部においてのみ実施されるものであり、海域への影響が想定されないため、環境影響評価項目として選定しません。
廃棄物・建設発生土	一般廃棄物	○	仮施設等 ^{注1} の撤去工事に伴い一般廃棄物の発生が予想されるため、環境影響評価項目として選定します。
	産業廃棄物	○	仮施設等 ^{注1} の撤去工事に伴い産業廃棄物が発生することから、環境影響評価項目として選定します。
	建設発生土	×	仮施設等 ^{注1} の撤去工事に伴い土砂発生及び場外への運搬は想定されないため、環境影響評価項目として選定しません。
大気質	大気汚染	○	建設機械の稼働、工事用車両の走行に伴い発生する二酸化窒素及び浮遊粒子状物質が、住居等が存在する周辺地域の環境に影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
水質・底質	公共用水域の水質	×	工事に伴い発生する排水は、公共下水道に排水する計画であり、排水を河川に直接排水しないため、公共水域の水質に影響を及ぼす要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	公共用水域の底質	×	工事に伴い発生する排水は、公共下水道に排水する計画であり、排水を河川に直接排水しないため、公共水域の底質に影響を及ぼす要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	地下水の水質	×	仮施設等 ^{注1} の撤去工事中において、地下水及び湧水の水質に影響を及ぼす要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
土壌	土壌汚染	×	仮施設等 ^{注1} の撤去工事中において、土壌汚染物質の使用や排出は行わないことから、環境影響評価項目として選定しません。
騒音	騒音	○	建設機械の稼働、工事用車両の走行に伴い発生する騒音が、住居等が存在する周辺地域の環境に影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
振動	振動	○	建設機械の稼働、工事用車両の走行に伴い発生する振動が、住居等が存在する周辺地域の環境に影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
地盤	地盤沈下	×	仮施設等 ^{注1} の撤去工事中において地盤沈下を招くような地下水の揚水、排水、遮断は行わないため、環境影響評価項目として選定しません。

注1：下線部：「方法書」からの変更点を示します。

表 5.2-4(2) 環境影響評価項目を選定した理由・選定しない理由（撤去中）

環境影響評価項目		選定	選定した理由・選定しない理由
評価項目	細目		
悪臭	悪臭	×	仮施設等の撤去工事において著しい悪臭を生じさせる要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
低周波音	低周波音	×	仮施設等の撤去工事において使用する建設機械は、市街地の建設工事で一般的に使用される建設機械であり、日常生活に支障となるような低周波音の発生は想定されないことから、環境影響評価項目として選定しません。
電波障害	テレビジョン電波障害	×	仮施設等の撤去工事において、電波障害を生じさせる施設は設置しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
日影	日照阻害	×	仮施設等の撤去工事において、日照阻害の要因となる高層建築物等は設置しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	シャドーフリッカー	×	仮施設等の撤去工事において、シャドーフリッカーを生じさせる構造物等を設置しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
風害	局地的な風向・風速	×	仮施設等の撤去工事において、風害を生じさせる高層建築物等は設置しないことから、環境影響評価項目として選定しません。
安全	土地の安定性	×	対象事業実施区域の近傍には「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」に基づき指定された「土砂災害警戒区域」が存在しません。区域内は平坦地であり、工事の実施等により斜面地の崩壊や地盤の変形を生じさせないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	浸水	×	仮施設等の撤去工事において、周辺地域に浸水を生じさせる影響要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。
	火災・爆発	×	仮施設等の撤去工事において、火薬等の使用・蓄積はなく、工事の安全管理を徹底することから、環境影響評価項目として選定しません。
地域社会	有害物漏洩	×	仮施設等の撤去工事において、有害物の使用・蓄積はなく、工事の安全管理を徹底することから、環境影響評価項目として選定しません。
	地域分断	×	仮施設等の撤去工事において、地域の分断を起こすような交通経路の遮断は行わず、工事施工ヤードも限られた範囲になることから、環境影響評価項目として選定しません。
	交通混雑	○	工事用車両の走行に伴い、交通混雑に対し影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
景観	歩行者の安全	○	工事用車両の走行に伴い、歩行者等の交通安全に影響を及ぼすおそれがあることから、環境影響評価項目として選定します。
	景観	×	仮施設等の撤去工事に伴う景観変化は過渡的なものであることから、環境影響評価項目として選定しません。
触れ合い活動の場	触れ合い活動の場	○	対象事業実施区域及びその周辺には、触れ合い活動が存在しており、工事用車両の走行に伴いアクセスへの影響を及ぼすおそれがあるため、環境影響評価項目として選定します。
文化財等	文化財等	×	対象事業実施区域内には、周知の埋蔵文化財包蔵地が存在しますが、工事において文化財等に影響を及ぼす要因はないことから、環境影響評価項目として選定しません。